



日本プライマリ・ケア連合学会  
近畿ブロック支部 活動報告

発行人：外山 学  
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区  
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A  
あゆみコーポレーション内  
Tel. 06-6441-4918 Fax. 06-6441-2055  
E-mail jpca@a-youme.jp  
HP square.umin.ac.jp/pc-kinki/

ニュースレター No. 8 (2014.9)

[会議報告] 近畿ブロック支部代議員会 (6月22日)

外山 学 (益田診療所/大阪府門真市)

新大阪駅近くの会場で、40名の代議員が出席して、支部代議員会が行われました。

(1) H26・27年度役員について、原案通り、現役員の再任を承認しました。

(2) 昨年度の事業報告及び決算と監査報告、今年度事業計画及び予算について順に検討を行い、いずれも原案通り承認しました。 (\*ページ2に続く)



昨年度事業報告

- (1) ニュースレターを4回、学会誌に同封して発行した(6月、9月、12月、H26年3月)。
- (2) 第27回近畿地方会(9月8日、兵庫医療大学)に際し、補助を行った。
- (3) 「地域支部及びグループ活動に対する補助の規定」を改訂し、計7件に対して補助を行った。
- (4) 幹事会を開催した(5月26日)。
- (5) 代議員会を2回開催した(9月30日、6月30日)。
- (6) 学会本部との連携、意思疎通に努めた。

今年度事業計画

- (1) ニュースレターを4回、学会誌に同封して発行する。(6月、9月、12月、H27年3月)
- (2) 第28回近畿地方会(11月30日、千里阪急ホテル)の円滑な開催に協力し、補助を行う。
- (3) 「地域支部及びグループ活動に対する補助の規定」を必要に応じて改定し、補助を行う。
- (4) 全府県での支部結成に向けての作業を行う。
- (5) 「家庭医療後期研修プログラム責任者会議」ブロック会の支援を行う。
- (6) 幹事会を開催する。(5月25日)
- (7) 代議員会を2回開催する。(6月22日、11月30日)
- (8) 学会本部との連携、意思疎通を更に強化する。

近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県)に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。

ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・支部長 : 外山学 (学会理事)
- ・副支部長 : 雨森正記 (学会理事)、大島民旗 (学会理事)、戸田和夫
- ・幹事 : 福原俊一 (学会理事)、朝倉健太郎、足立光平、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、空地頭一、高木幸夫、武田以知郎、羽野卓三、松村理司、水野融、三ツ浪健一
- ・監事 : 大島久明、澤木政光



(3) 来年度の近畿地方会に関し、奈良県内で11月29日(日)に開催すべく、県内の代議員を中心とした準備会議を既に2回実施したことが報告されました。出席代議員からは、若手医師、(後期)研修医及び学生への配慮について要望が出されました。

(4) 地域支部及びグループ活動に対する補助規定について小改定を行いました。変更点は、1) 報告原稿の提出にあたって、できるだけ写真の添付をお願いすることと、郵送料の補助額を、現行料金の82円/人にアップしたことです。尚、補助にあたっては、公平を期すために、幹事会ML上で、幹事全員の合議で決定していることが報告されました。

(5) 大学医学部における「地域枠」の拡大とその支援について、羽野卓三幹事(和歌山県立医科大学)からの約15分のミニレクチャー後、ディスカッションを行いました。

(6) 学会本部の丸山泉理事長からの約20分のミニレクチャー後、ディスカッションを行いました。講演のキーワードは、「全人的医療」「多職種協働」「家庭医が必要だという世論」「総合医が必要だという病院からの要望」「学会の専門医の将来」「日本医師会」「プライマリ・ケアの強化」「プライマリ・ケア領域での仕事のリスペクト」「厚生労働省の思惑」「財務省財政改革」「内閣府規制改革会議」「日本医学会加入」「19番目の基本領域」「関係学会の不安」「大学の問題」「WONCA WONCA-APR」でした。

(7) 全府県での支部立ち上げに向けて、協議を行いました。

1) 当面の各府県の窓口責任者及び会計担当について承認しました(以下敬称略、責任者/会計担当)。

- ・滋賀：雨森正記/松井善典
- ・京都：小泉俊三/関透
- ・大阪：梶山泰男/外山学
- ・兵庫：戸田和夫/(未定)
- ・奈良：武田以知郎/朝倉健太郎
- ・和歌山：羽野卓三/(未定)

2) 各府県に分かれて、顔合わせと今後の進め方についての意見交換を行いました。



丸山泉理事長によるミニレクチャー

## 【勉強会報告】家庭医研修 before & after ~家庭医になる前、なった後の生涯学習~ (6月15日)

中村 麻衣子(健生会 大福診療所/奈良県桜井市)

第15回万葉衆、関西家庭医療研究会、日本プライマリ・ケア連合学会学生研修医部会の合同企画が奈良県桜井市の大福診療所にて行われました。

学生企画では、あざいリハビリテーションクリニック、作医院、竹中医院、大福診療所で実際に実習を行った4名(看護学生1名、医学生3名)からの発表があり、実践で感じたことや学んだことを振り返り自分の言葉で言語化することの大切さや、大学の講義や授業で生じていたもやもや感が学びの種まきになることを実感したなど、実際に臨床現場にでてみて吸収できたことを学生の視点から考察し発表してくれていました。

そのほか、後期研修医の学びの発表や、市立奈良病院での家庭医療後期研修プログラムでの様々な工夫(スーパーバイザー制度で4年を通してサポートする体制や学習ログの導入など)の発表がありました。家庭医療プログラムにおける総合内科病棟研修期間の意義についてなどが論議の対象となりました。

最後はベテラン医師のシンポジウムというものでした。「生涯学習」というテーマにふさわしく、様々なセティングで働く医師・薬剤師・看護師・学生と多種多様な職種や立場の人々がディスカッションできる場となりました。





## [地方会準備報告] 第29回近畿地方会奈良大会準備に向けて

武田 以知郎 (地域医療振興協会 明日香村国民健康保険診療所)

朝倉 健太郎 (健生会 大福診療所/奈良県桜井市)

平成22年の合併後、本学会の規模は年々盛り上がりを見せておりますが、地域包括ケアの実践に向けた切実なニーズもあり、地方会への期待はさらに大きなものとなっております。そのような中、第29回近畿地方会に向けた取り組みが、奈良県の代議員を中心にスタートしました。

奈良県ではこれまで、平成3年に橿原地区医師会(第5回)、平成19年に奈良市医師会(第21回)を主催とした実績がありますが、第29回大会は奈良県立医科大学医師会の主催(学会長古家仁先生、実行委員長西尾健治先生)にて開催を予定しております。地域の診療所から基幹大病院まで、地域包括ケアに関わる多職種が交流し研鑽する場になること、学生や研修医らが現場とアカデミアに触れ、ロールモデルに出会える場になることを目指したいと思っております。どうぞご期待下さい!



・期日:平成27年11月29日(日)

・場所:奈良県社会福祉総合センター(予定)

奈良県橿原市大久保町320番(近鉄橿原線畷御陵前駅東すぐ)

## [支部報告] 大阪支部立ち上げ準備会(8月24日)

梶山 泰男(窓口責任者:大阪府中央区東医師会)

外山 学(会計担当:益田診療所/大阪府門真市)

大阪支部の立ち上げ準備会が、大阪府所属の代議員有志等14名が参加して、大阪市内で開催されました。出席者の内訳は、診療所医師6名、病院等の医師4名、大学の医師2名、薬剤師2名でした。

支部立ち上げのための本格的な会合としては初回でしたので、自己紹介に始まり、学会の方針やこれまでの議論・論点についての報告の後、食事をしながらのフリーディスカッションに移りました。経緯の確認や、モデルとなるような他県の支部についての情報交換が行われ、共通認識を整理しました。代議員以外に種々の職種を含めた、運営委員会(仮称)を作ることに合意が得られました。

今後は、自薦・他薦による有志のメーリングリストを作って議論を続け、11月30日には近畿地方会終了後に同会場で、拡大版の大阪地区代議員会を行って基本方針と運営体制を整え、今年度中には、大阪支部としての初会合(勉強会)を開催する計画です。関係の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 第28回近畿地方会 <http://pckinki28.umin.jp>

- ・会期:2014年11月30日(日)
- ・会場:千里阪急ホテル  
(大阪府豊中市新千里東町2-1)
- ・主催:豊中市医師会
- ・大会長:上辻 浩夫(豊中市医師会 会長)



**[ご案内] 地域支部・グループ研究活動に対する補助の公募** (2014.6.22 一部改定部分を下線で表示)

近畿ブロック支部では、府県単位での地域支部活動や、さまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。申請用紙(事務局にご請求下さい)は簡便に作っておりますので、お気軽にご応募下さい。今後も適宜改訂していきますので、より良いしくみにするためのご意見などもお願いいたします。

**(1) 補助の要件**

- 1) 主催者が日本プライマリ・ケア連合学会(以下、学会)の会員であること
- 2) 近畿ブロック支部の活動の趣旨に沿っていること。ただし、単なる懇親会は補助の対象外とする。

<参考> 日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部会則

第3条 本会は、近畿ブロックにおけるプライマリ・ケアに関する学術の進歩、知識の普及ならびに人材の育成を図り、プライマリ・ケアの充実および向上に寄与することを目的とする。また、人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的とする。

- 3) 学会本部や製薬会社など、他の主体からの補助や協賛と重複していないこと。(大学や病院、医師会等の関係団体による支援は可)
- 4) 補助金の振り込みを受けるための銀行口座を有していること(個人名義で可)
- 5) 学会近畿ブロック支部から補助を受けていることについて、案内文書に記載するか当日アナウンスを行うこと。可能であれば、学会への入会勧奨をすることが望ましい。

**(2) 申請の手順**

- 1) 申請にあたっては、所定の書式に準じた申請書を提出すること。開催前の申請で、その時点で記載及び添付不可能な項目がある場合は、会合終了後に遅滞なく当該事項について提出すること。尚、補助金の用途を明記し、対応する領収書のコピーを添付すること。
- 2) 申請書2枚のうちの1枚は、学会本部へ「専門医・認定医研修講座」又は「認定薬剤師研修講座」の企画書を提出している場合(すなわち専門医・認定医、認定薬剤師の単位を申請している場合)、そのコピーをもって代えることができる。
- 3) 報告の形式は、近畿ブロック支部ニュースレターへの原稿提出とする。(概ね、写真1点+600字、写真が困難な場合は文字のみ700字) また、交流推進のため地方会での一般演題発表も歓迎する。

**(3) 補助額**

- 1) 基本活動補助費(同一主催者には年1回のみ)として、学会会員10名未満の会の場合1万円、学会会員10名以上の場合3万円を補助する。
- 2) 会合1回ごとのオプションとして、都道府県など一定地域(あるいは職種等の一定範囲)の全会員に案内を送付する場合、ブロック支部事務局より名簿を提供し、当該府県(職種)分の案内人数分の郵送料(82円/人)を補助する。尚、名簿の提供は、郵送物発送のための必要最低限の形式とし、申請者は「当該勉強会の案内以外の目的で名簿情報を利用しない」旨の文言にサインするものとする。

**支部からのご連絡**

**ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております!** また、会員の方の関係した講演会等の案内欄を設けております。掲載を希望される方は、1)日時、2)会場、3)講演会名、4)講演会の対象者、5)演題と演者、肩書き(主要なもの1つ)、6)主催者(及び共催者)、7)連絡・問い合わせ先、8)HP(あれば)、9)事前申込の可否、10)参加費用、11)取得可能単位を事務局までメール又はFAXでご連絡下さい。尚、原稿締切日とニュースレター発行日は、2月20日〆切→3月下旬発行、5月20日〆切→6月下旬発行、8月20日〆切→9月下旬発行、11月20日〆切→12月下旬発行となっております。学会及び支部の精神に則り、会員に役立つ情報提供をよろしくお願いいたします。